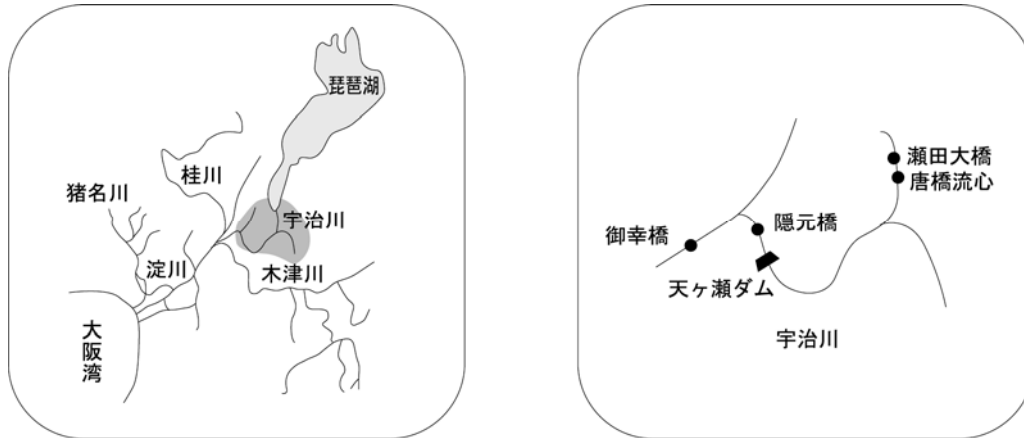


### 3. 宇治川

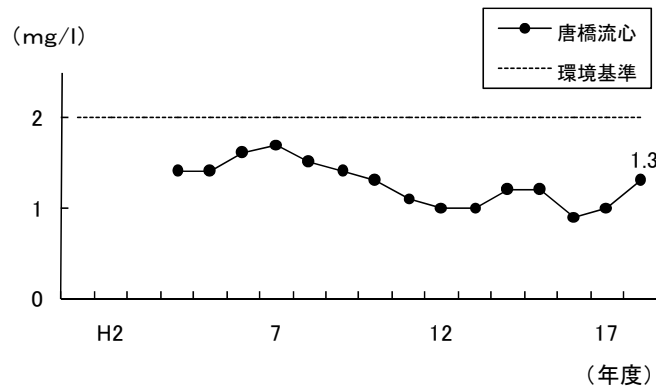
宇治川は昭和50年代に水質が悪化したが、上流は急速に改善され、下流は昭和60年代に徐々に改善されている。その後は横ばい状態にあり、上・下流とも環境基準を達成しつつけている。



#### (1) 瀬田川

宇治川上流に位置する瀬田川は琵琶湖南湖の水質の影響を強く受ける地点である。BOD (75%値) は平成4年度以降1.0~1.5mg/lと低い値で推移してきており、平成18年度は1.3mg/lと環境基準値 (2.0mg/l) を下回っている。

アンモニア性窒素 (年平均値) も昭和62年度以降0.03~0.05mg/lの低い値で推移しており、平成18年度は報告下限値 (0.02mg/l) 未満であった。



【図3-24 瀬田川 (唐橋流心) のBOD (75%値) の推移】

滋賀県環境白書より作成 詳細は資料3-10を参照

